


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 2月 8日

山北町議会議長 児玉洋一 殿

受付番号	第6号	質問議員	1番	瀬戸恵津子	
件名	(仮称)山北スマートIC周辺土地利用構想概略図の進捗は				
要 旨					
<p>現在、新東名高速道路伊勢原大山IC～新御殿場IC間の工事は、地質の厳しさ等により工法を変更して行うため、令和5年度の開通予定が大幅に遅れる状況である。</p> <p>山北町のスマートICは、平成26年度に連結許可を受けたが、地域の活性化にいかに関係していくのかが課題となっている。一方では町のやる気をアピールするチャンスともいえる。</p> <p>そこで庁内で設置した若手職員によるプロジェクトチームや清水あり方研究会の素晴らしい提案が(仮称)山北スマートIC周辺土地利用構想概略図にどのように反映され、また実現に向かってどのように進めるのか質問する。</p>					
<p>①開通までに必要な事業として、ウエルカムサイン等、道の駅と河内川ふれあいビレッジの連絡通路や道の駅眺望スポットの整備、やまなみ橋の路側帯等の取り組みは。</p> <p>②開通後に取り組む事業として、旧清水小・中学校・旧清水保育園の有効活用、大野山からの眺望を活かした眺望スポットの整備等の既存施設の整備についての計画は。</p> <p>③周辺土地利用については第5次総合計画や第3次土地利用計画と整合性を図り、法規制を精査し検討していくと過去に言われているが状況は。(ふれあいビレッジ隣接地、山砂利採取跡地等)</p> <p>④当初からの課題である県道への計画交通量約1300台/日に対するインフラ整備の進捗は。</p>					